

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：大山崎町

| プロジェクト名                          | 環境と共生する安心・安全な生活環境づくりプロジェクト  | 実施期間   | 平成26年度～平成30年度                              | テーマ                                    | まちの安心・安全  | 新規・継続の区分 | 継続    |
|----------------------------------|---|--|--|--|---|----------|-------|
| 地域における現状、課題及び住民ニーズ               | <p>本町は南部に桂川が流れ西部に天王山を有し、四季折々の豊かな自然が残る地域である。しかし、一方で、大規模な水害と土砂災害の危険も有する。加えて、付近を活断層が走っており、大規模な地震災害の危険もある。</p> <p>住民は自主防災組織を結成するなどし、水害と土砂災害の両面に備えている。災害発生時には消防等が到着するよりも早く住民同士で救助活動できるよう、防災訓練等の活動を行っている自主防災組織も増えており、救助用の資機材を整備する必要がある。また、より地元精通した地域の消防団組織の体制強化を図り、災害時の救援活動等に備える必要がある。</p> <p>加えて、避難所施設や排水ポンプ場の整備、排水対策などのハード面の対策も講じなければならない。</p> <p>また、町内にある防犯灯を寿命の長いLED化に順次進めて、夜間の防犯対策に繋げていく必要がある。</p> |  |  |  |   |          |       |
| プロジェクトの目的及び概要                    | <p>自然災害時、たとえば地震時には、消防が駆け付ける前に近隣住民らで倒壊家屋の下敷きになった人を救出できるよう資機材を整えておく必要があり、地域に救出用の資機材を収納した防災倉庫の配置を強化しており、自主防災組織の結成の促進と住民の防災意識の高揚を図る。</p>  |  |  |  |   |          |       |
|                                  | 総事業費（千円）  | 171,250  | 本年度事業費（千円）                                 | 30,250                                 | 交付金額（千円）  |          | 4,172 |
| プロジェクトを構成する事業の平成26年度事業実績（出来高数値等） |   |  |  |  |   |          |       |
| 事業分類                             | 事業名   | 事業種別   | 事業概要                                       |  | 主な実績（出来高数値等）  |          |       |
| 市町村実施事業                          | 町消防団詰所整備事業  | 交付対象事業   | 老朽化が激しい町消防団（第2分団）の詰所を移転建て替えるにあたっての設計業務を実施。 |  | 平成25年度に取得した用地において、建設に係る設計を実施  |          |       |
|                                  | 自主防災組織支援事業  | 交付対象事業   | 自主防災組織に活動支援補助金を交付。自主防災組織の活動を支援するための備品を設置。  |  | 自主防災組織：8団体（155千円）／救出用資機材一式を地域の防災倉庫1カ所に整備（282千円）                           |          |       |
|                                  | 防災関係整備強化事業  | 交付対象事業   | 災害時用の備品（移動系防災行政無線、災害時用簡易組立トイレ）を設置。         |  | 移動系防災行政無線5基を役場庁舎に設置（1,242千円）、災害時用簡易組立トイレ1基を避難所に設置（1,036千円）                |          |       |
|                                  | 避難所無線LAN環境整備事業  | 交付対象事業   | 避難所に無線LANの環境を整備。                           |  | 避難所1箇所に整備（2,862千円）  |          |       |
|                                  | 排水ポンプ大規模改修事業  | 交付対象事業   | 大雨の際の浸水対策のために、排水ポンプ場及び排水機場の整備を実施。          |  | 排水ポンプ場及び排水機場整備工事（20,736千円）  |          |       |
|                                  | 防犯灯LED化整備事業   | 交付対象事業   | 町内の防犯灯をLED化に整備。                            |  | 防犯灯25基をLEDに更新。（1,200千円）   |          |       |
| 住民協働事業                           | 自主防災組織支援事業  | 交付対象事業   | 自主防災組織に活動支援補助金を交付。自主防災組織の活動を支援するための備品を設置。  |  | 自主防災組織：8団体（155千円）／防災資機材一式を地域の防災倉庫1カ所に整備（282千円）                            |          |       |
| 成果指標①                            | 成果指標の目標数値   | 避難所備蓄物資の整備【飲料水】14,400本（H26年度末）/21,000本（短期避難者×3本・H30年度末）【食料】9,000食（H26年度末）/14,000食（短期避難者×2食・H30年度末） |  | 成果指標の実績値（平成27年3月31日時点）                 | 【飲料水】10,495本/21,000本（短期避難者×3本・H30年度末）【食糧】10,291食/14,000食（短期避難者×2食・H30年度末） |          |       |
|                                  | 成果指標の達成状況   | －  | （左の理由）                                     | 平成30年度の目標達成に向け、在庫管理及び新規購入計画を実施。        |   |          |       |
|                                  | 成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期   |  | （理由）                                       |  |   | （時期）     |       |
| 成果指標②                            | 成果指標の目標数値   | 町内の自主防災組織率（世帯換算）：34%（H26.4現在）/70%目標（H30年度末）  |  | 成果指標の実績値（平成27年3月31日時点）                 | 町内の自主防災組織率（世帯換算）：38%  |          |       |
|                                  | 成果指標の達成状況   | －  | （左の理由）                                     | まずはカバー率としての100%を達成すべく、未結成自治会への働きかけを実施。 |   |          |       |

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：大山崎町

|   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| ②   | 成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期  | (理由)  | (時期)  |
| 成果指標③                                       | 成果指標の目標数値  | 防災メール登録者数：1,000人目標  | 成果指標の実績値<br>(平成27年3月31日時点) 防犯メールの登録者数：1,425人                              |
|   | 成果指標の達成状況  | ◎ (左の理由)  | 広報啓発が功を奏し、目標比140%以上を達成しているが、引き続き加入者増加への取り組みを実施。                           |
|   | 成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期  | (理由)  | (時期)  |
| 成果指標④                                       | 成果指標の目標数値  | 防犯灯のLED化：30基（2%）設置  | 成果指標の実績値<br>(平成27年3月31日時点) 平成26年度：新規 25基（1.6%）を設置完了（防犯灯数1,500基のうち、167基完了） |
|   | 成果指標の達成状況  | ○ (左の理由)  | 防犯灯の照度規格差による影響。   |
|   | 成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期  | (理由)  | (時期)  |
| 本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果<br>※未達成の場合も効果を記載すること | <p>自主防災組織支援事業においては、活動にかかる費用負担を補助金によって軽減することで、自主防災組織率向上に寄与している。また、結成された自主防災組織の活動として行なう避難訓練や出前講座の場において防災メールの登録を呼びかけており、現場での登録者も少なくない。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p> |   |   |
| 本プロジェクトに対する自己評価                             | 関連事業との連携効果   | 防犯灯のLED化や排水ポンプの整備、避難所無線LAN環境整備などのハード整備と、自主防災組織に対する支援といったソフト事業の両面で、住民の安心・安全を確保するための総合的な防災行政が推進できている。             |   |
|   | 府と市町村等との連携に資する成果   | 整備した備品等を活用し、実際の災害を想定した総合防災訓練などを実施する中で、府町の連携を深めつつ、それぞれの役割分担を明確化すると共に、土砂災害警戒区域指定の説明会などでは府と住民の橋渡しを町が担っている。         |   |
|   | 住民の自治意識を高める成果  | 自主防災組織の活動支援や結成支援を通じ、「自分たちの地域は自分たちで守る。」という意識の共有が住民の中で芽生え、住民間の連携を深めることで、防災以外の自治活動においても顔の見える関係を構築し、自治意識の高揚に寄与している。 |   |

## （記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。